

# 経営比較分析表（平成29年度決算）

兵庫県 加西市

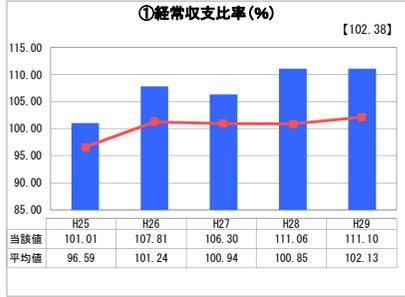
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡当たり家産料金(円)
-	34.46	33.62	91.03	3,650

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
44,649	150.98	295.73
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
14,971	13.42	1,115.57

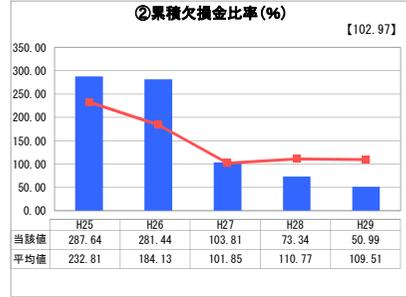
**グラフ凡例**

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 平成29年度全国平均

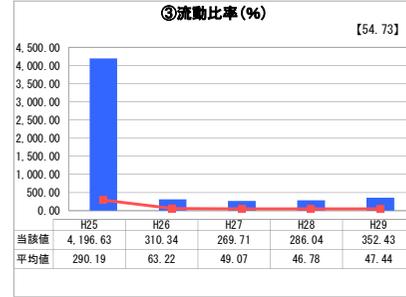
## 1. 経営の健全性・効率性



「経常損益」



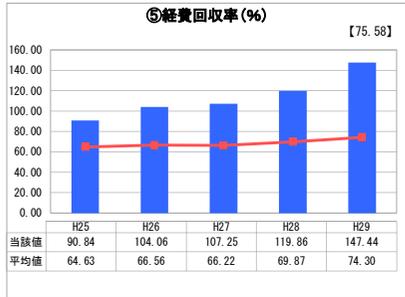
「累積欠損」



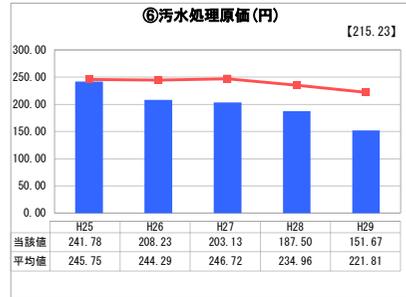
「支払能力」



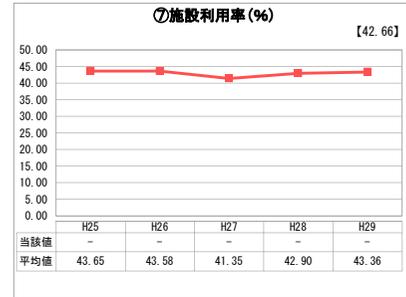
「債務残高」



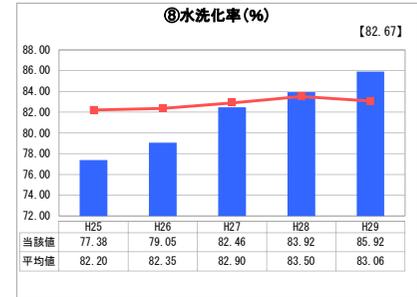
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

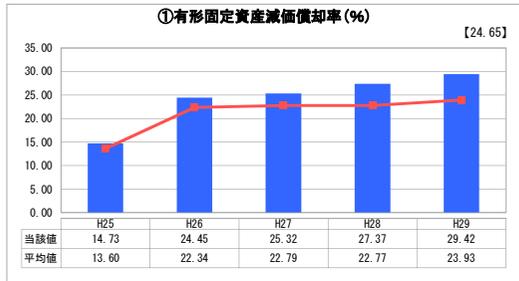


「施設の効率性」

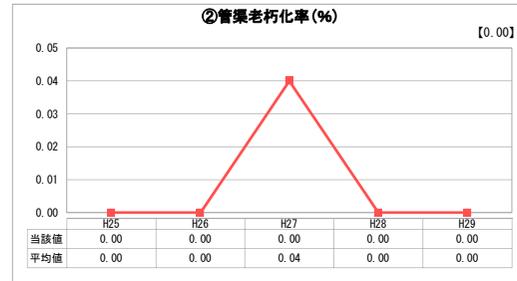


「使用料対象の捕捉」

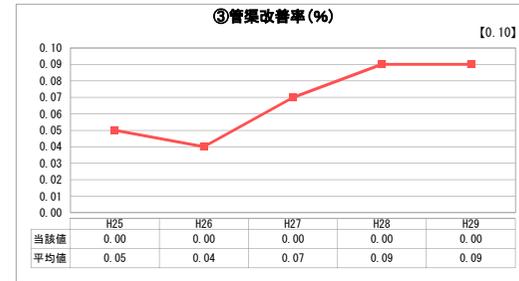
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は、100%を上回っており経営状況は悪くありません。近年は総収入がやや減少傾向にあるため、引き続き経費の節減に努める必要があります。

② 累積欠損金比率は、近年黒字が続いているため改善しています。

③ 流動比率は、地方公営企業会計制度改正の影響により平成26年度に大きく下がりましたが、100%を超えており、良好な状況を保っています。

④ 企業債残高対事業規模比率は、引き続き類似団体平均を下回っています。

⑤ 経費回収率は100%を超えており、使用料で経費を賚っている状況といえます。

⑥ 汚水処理原価は類似団体平均に比べて低くなっており、比較的経営の効率が良いといえます。

⑦ 施設利用率については本市には公共下水道の処理施設がないため比較できません。

⑧ 水洗化率については年々上昇し、平成28年度以降は類似団体平均を上回っていますが、今後も引き続き水洗化の促進に努めます。

### 2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率は、類似団体と比べると数値が若干高く、平成29年度末で29.42%となっており、全体の耐用年数は7割強程度残っていることとなります。

② 管渠老朽化率は、管渠を比較的近年に整備したため法定耐用年数を超えたものはありません。

## 全体総括

当市の特定環境保全公共下水道事業については、ほとんどの指標において数値も良く、全体的に類似団体と比較しても良い状況となっています。今後他の処理区域との統合工事を予定しており、経営状況は変動的になっていくことが予想されますが、引き続き経費の節減と水洗化の促進による使用料収入の確保に取り組み、効率的で持続可能な下水道経営に努めます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。  
 ※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率、管渠老朽化率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。